

2020年12月期 第3四半期  
**決算説明会**

---

2020年11月13日

株式会社ソディック

**I. 2020年12月期 3Q決算概要**

II. 2020年12月期 業績予想

III. 株主還元

(参考資料)

# 業績ハイライト



- ✓ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により放電加工機の販売が大幅に減少
- ✓ 生産台数減少に伴う工場の収益性低下等により、営業利益は前年同期比約7割減。

(百万円)

	2019年12月期 3Q		2020年12月期 3Q		前年同期比 増減		2020年12月期通期予想 (11/13修正)	
	実績	利益率	実績	利益率	金額	率	金額	利益率
売上高	49,707	-	40,744	-	△8,962	△18.0%	55,400	-
売上総利益	16,480	33.2%	12,859	31.6%	△3,620	△22.0%		
営業利益	2,746	5.5%	827	2.0%	△1,918	△69.9%	1,300	2.3%
経常利益	2,577	5.2%	893	2.2%	△1,683	△65.3%	1,300	2.3%
当期純利益	1,177	2.4%	619	1.5%	△558	△47.4%	750	1.4%
	売上高比率		売上高比率					
設備投資額	3,353	6.7%	1,566	3.8%			4,500	
減価償却費	2,542	5.1%	2,521	6.2%			3,800	
研究開発費	2,870	5.8%	2,364	5.8%			3,400	
期中平均 為替レート	ドル	109.12 円		107.55 円	1.57円 円高		106.50 円	
	ユーロ	122.62 円		120.93 円	1.69円 円高		121.50 円	
	人民元	15.88 円		15.37 円	0.51円 円高		15.40 円	
	パーツ	3.49 円		3.41 円	0.08円 円高		3.40 円	

※参考情報 2020年9月末 為替レート ドル：105.80円 ユーロ：124.17円 人民元：15.54円 パーツ：3.34円  
 2019年9月末 為替レート ドル：107.92円 ユーロ：118.02円 人民元：15.13円 パーツ：3.53円

## 業績ハイライト（四半期別）



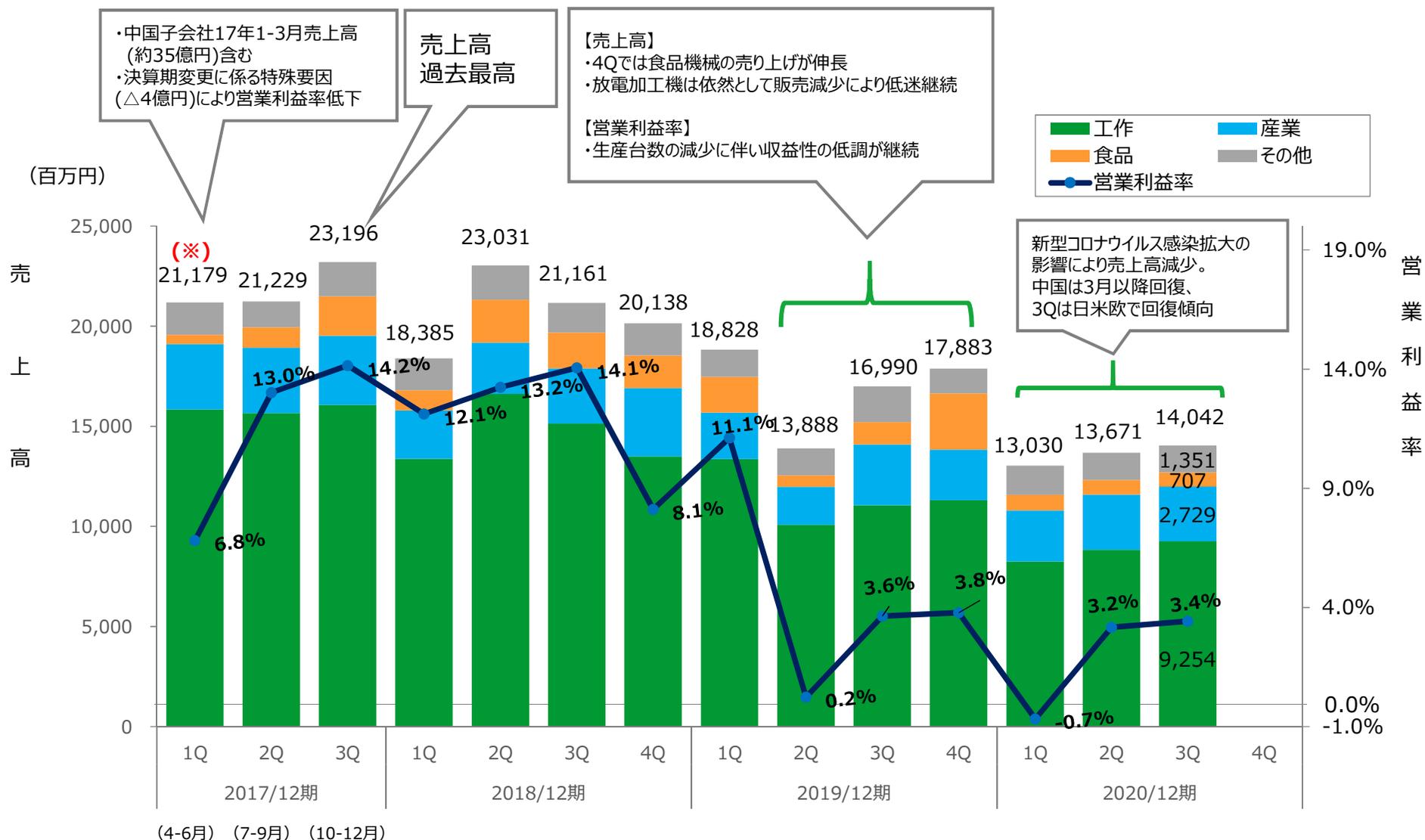
- ✓ 第3四半期は、日本及び欧米において緊急事態宣言やロックダウンの解除に伴い、事業活動が再開したことで放電加工機の販売が増加。
- ✓ 税務上の繰越欠損金に対する税効果の計上（約2.5億円）等により、当期純利益が増加。

(百万円)

	2020年12月期						前四半期比 増減	
	1Q (1-3月)	利益率	2Q (4-6月)	利益率	3Q (7-9月)	利益率	金額	率
売上高	13,030	-	13,671	-	14,042	-	370	2.7%
売上総利益	4,073	31.3%	4,358	31.9%	4,427	31.5%	68	1.6%
営業利益	△88	△0.7%	433	3.2%	481	3.4%	48	11.1%
経常利益	△67	△0.5%	430	3.1%	530	3.8%	100	23.4%
当期純利益	△18	△0.1%	124	0.9%	513	3.7%	389	314.0%

期中平均 為替レート	ドル	108.86 円		108.23 円		107.55 円	
	ユーロ	120.08 円		119.31 円		120.93 円	
	人民元	15.60 円		15.38 円		15.37 円	
	バーツ	3.48 円		3.43 円		3.41 円	

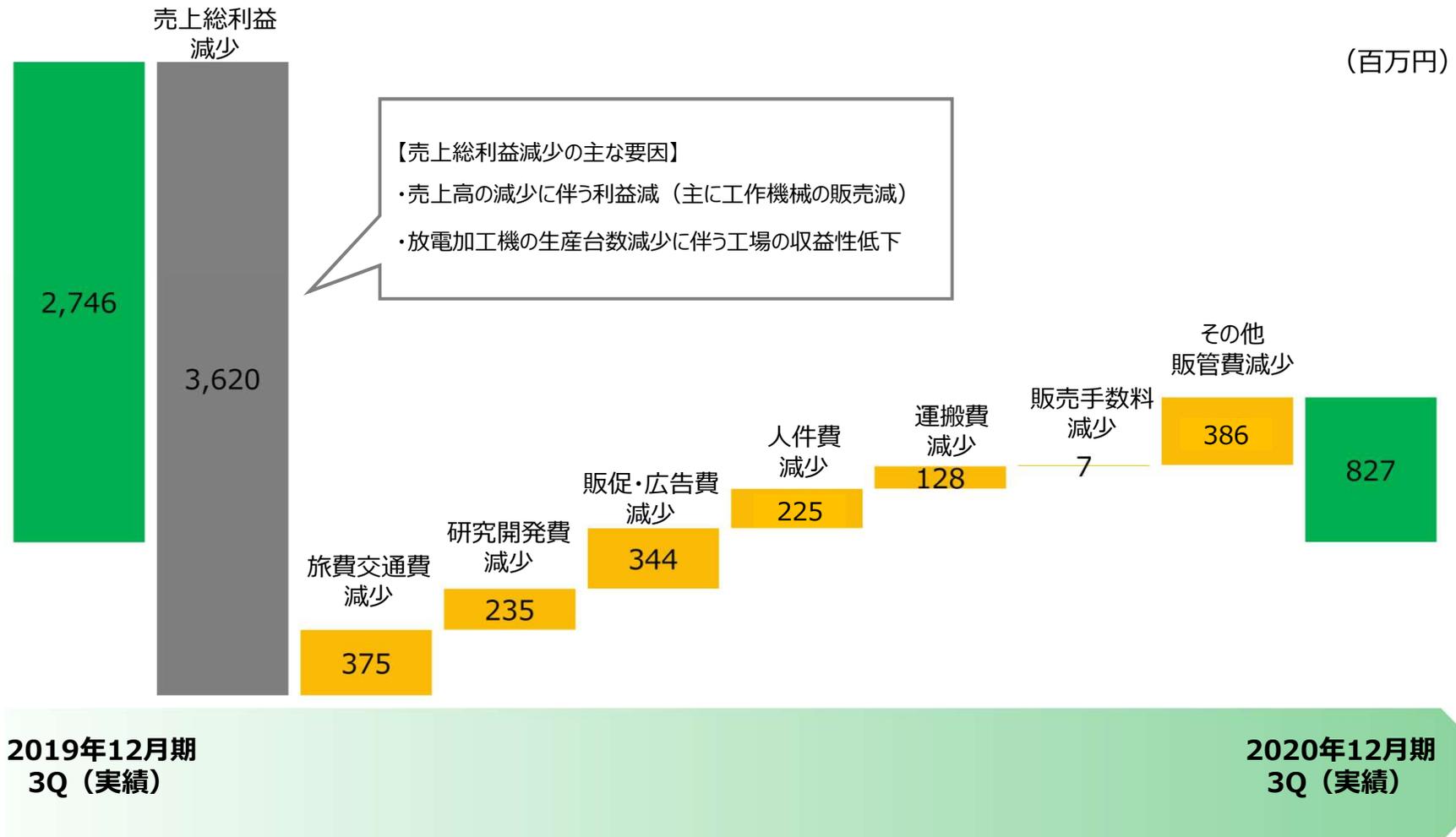
# 売上高・営業利益率推移（四半期毎）



(※)決算期変更による変則決算のため、中国12月決算会社の17年1-3月の数値含む。

# 営業利益増減要因

- ✓ 出張制限による旅費交通費の減少、展示会中止による販促・広告費の減少、残業減少による人件費の減少など、販売管理費全体としては約17億円減少するも、売上高の減少等に起因する売上総利益の大幅な減少により、営業利益は827百万円。



# セグメント別業績



(百万円)

		2019年12月期	2020年12月期	増減		2020年12月期 通期予想 (11/13修正)
		3Q 実績	3Q 実績	(額)	(率)	
売上高	● 工作機械事業	34,498	26,317	△ 8,180	△23.7%	35,700
	● 産業機械事業	7,242	8,045	802	11.1%	10,200
	● 食品機械事業	3,470	2,223	△ 1,246	△35.9%	3,900
	● その他事業	4,496	4,158	△ 338	△7.5%	5,600
		49,707	40,744	△ 8,962	△18.0%	55,400
セグメント 利益	● 工作機械事業	3,564	1,675	△ 1,889	△53.0%	2,400
	● 産業機械事業	218	370	152	69.6%	400
	● 食品機械事業	369	27	△ 342	△92.6%	180
	● その他事業	236	312	75	32.0%	400
		4,389	2,385	△ 2,004	△45.7%	3,380
調整額		△ 1,643	△ 1,558	85	—	△ 2,080
営業利益 合計		2,746	827	△ 1,918	△69.9%	1,300

# セグメント別業績



(百万円)

## ■ 工作機械事業

### 【売上高】

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、世界的に自動車、電子部品、航空宇宙など広範な産業での製品出荷後ろ倒しや設備投資先送りの傾向あり、前年同期比大幅減少。
- 四半期では、3Q売上高は2Q比で増加。3月から事業活動が戻ってきた中国は引き続き回復基調であり、日本及び欧米においても緊急事態宣言やロックダウン解除に伴い、事業活動が再開したことにより、放電加工機の販売が回復基調。

### 【セグメント利益】

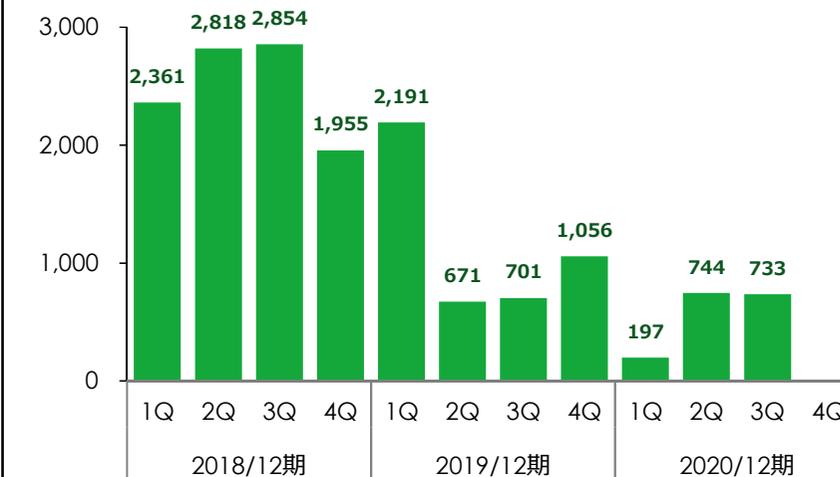
- 3Q累計売上高の減少及び生産台数減少による工場の収益性低下等により前年同期比大幅減少。  
(百万円)

	2019年 12月期 3Q累計	2020年 12月期 3Q累計	増減	
			額	率
売上高	34,498	<b>26,317</b>	△ 8,180	△23.7%
セグメント利益	3,564	<b>1,675</b>	△ 1,889	△53.0%

### 売上高 (四半期毎)



### セグメント利益 (四半期毎)



# セグメント別業績



(百万円)

## ■産業機械事業

### 【売上高】

- 全世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響による経済活動の抑制状況は継続。
- 5Gスマートフォンのアンテナ部品向け、レンズ向け案件のほか、CASEなど次世代自動車関連向けなどの需要もあり、売上高は前年同期比増加。
- 一方、足元の受注は一服感あり、先行き不透明な状況。

### 【セグメント利益】

- 高付加価値製品の販売が継続し、セグメント利益は前年同期比大幅に改善。

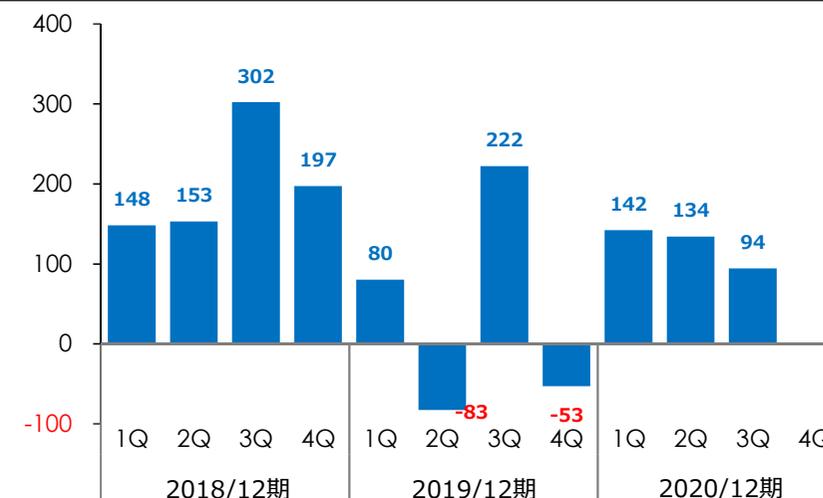
(百万円)

	2019年 12月期 3Q累計	2020年 12月期 3Q累計	増減	
			額	率
売上高	7,242	<b>8,045</b>	802	11.1%
セグメント 利益	218	<b>370</b>	152	69.6%

### 売上高 (四半期毎)



### セグメント利益 (四半期毎)



# セグメント別業績



(百万円)

## ■ 食品機械事業

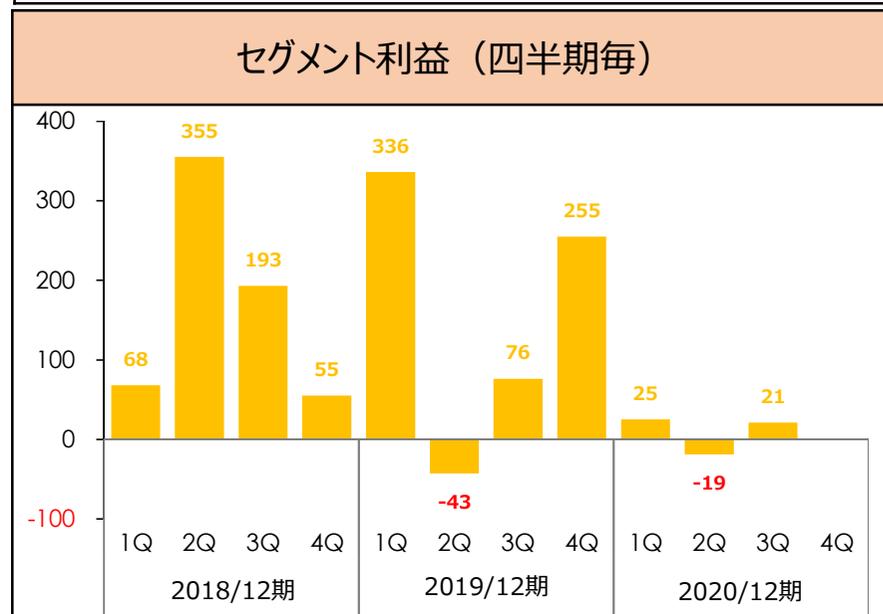
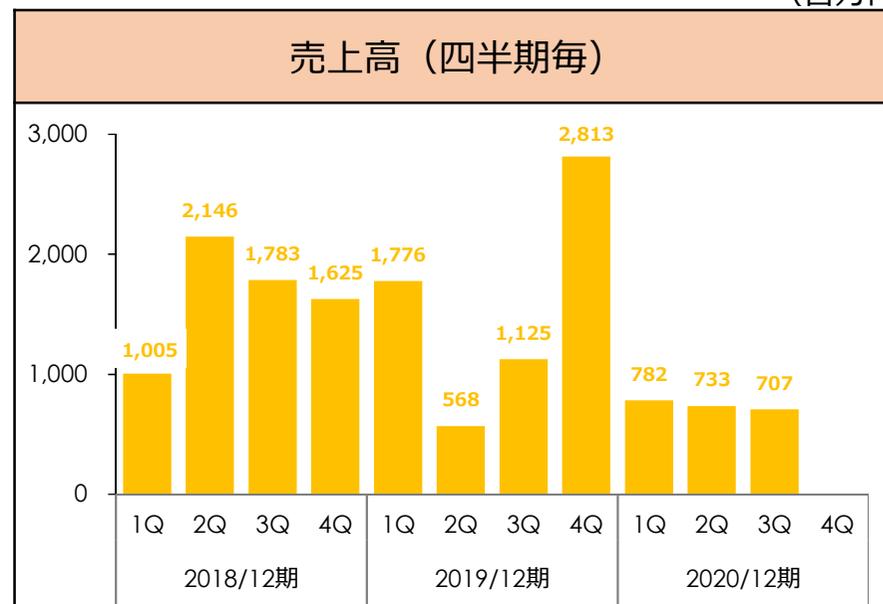
### 【売上高】

- 衛生面、省人化対応設備の需要継続、外出自粛に伴う巣ごもり需要に関連した需要増加。
- 売上見込みが第4四半期に集中していること、新型コロナウイルス感染拡大による営業活動の遅れや設備投資の先送り等により、前年同期比で大幅に減少。

### 【セグメント利益】

- 売上低迷によりセグメント利益は低水準で推移。

	2019年 12月期 3Q累計	2020年 12月期 3Q累計	増減	
			額	率
売上高	3,470	<b>2,223</b>	△ 1,246	△35.9%
セグメント利益	369	<b>27</b>	△ 342	△92.6%



# セグメント別業績



(百万円)

## ■ その他事業

### 【売上高】

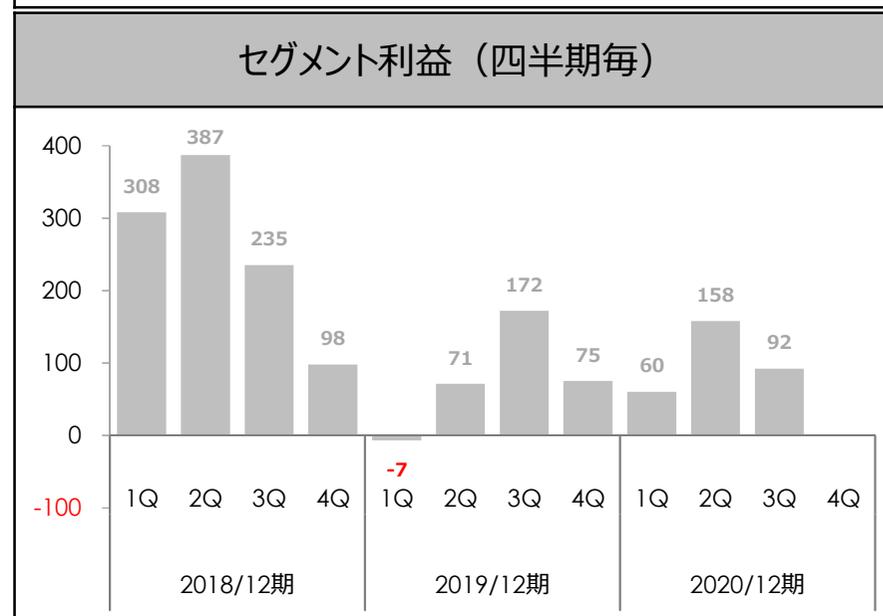
- 金型成形事業は、自動車産業の需要持ち直しの動きあるが、依然として先行きは不透明。
- セラミックス需要は、新型コロナウイルス感染拡大を受けたテレワーク等の情報通信設備の需要増加を受け、回復傾向。

### 【セグメント利益】

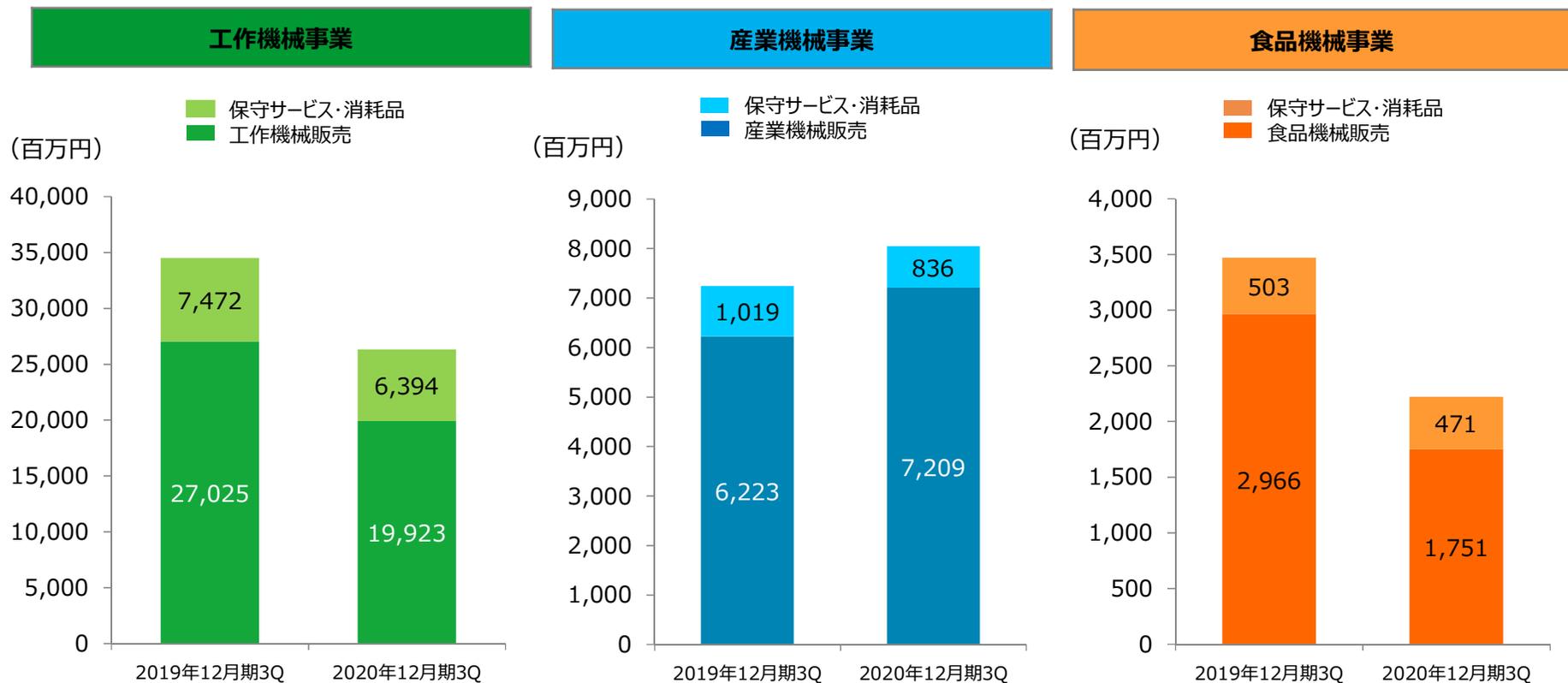
- 事業環境の悪化や研究開発投資により、収益性が低下していた前年同期と比較するとやや回復傾向であるも、依然として低迷。

(百万円)

	2019年 12月期 3Q累計	2020年 12月期 3Q累計	増減	
			額	率
売上高	4,496	<b>4,158</b>	△ 338	△7.5%
セグメント利益	236	<b>312</b>	75	32.0%



# セグメント別 売上高内訳

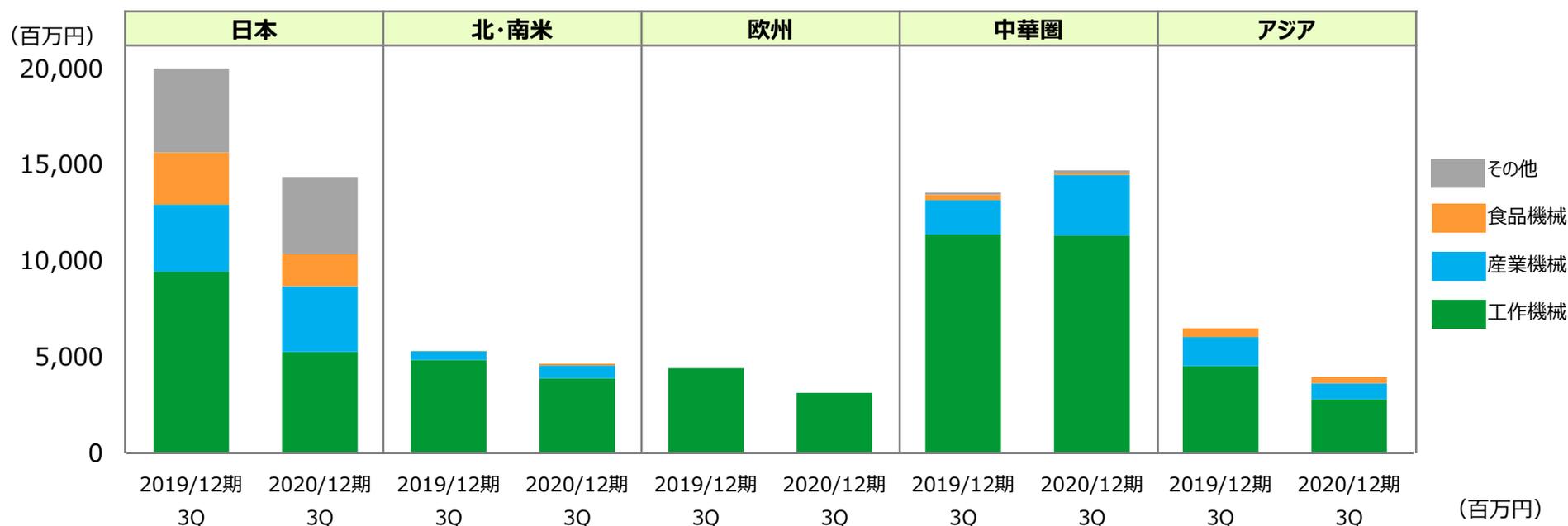


	工作機械事業				産業機械事業				食品機械事業			
	2019年12月期 3Q		2020年12月期 3Q		2019年12月期 3Q		2020年12月期 3Q		2019年12月期 3Q		2020年12月期 3Q	
機械販売	27,025	78.3%	19,923	75.7%	6,223	85.9%	7,209	89.6%	2,966	85.5%	1,751	78.8%
保守サービス・消耗品	7,472	21.7%	6,394	24.3%	1,019	14.1%	836	10.4%	503	14.5%	471	21.2%
合計	34,498		26,317		7,242		8,045		3,470		2,223	

# 事業別海外売上高比率



✓ 中国以外の地域での売上高が大幅に減少。 海外売上高比率は 64.8%



2019年12月期 3Q	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	9,408	27.3%	4,825	14.0%	4,400	12.8%	11,362	32.9%	4,501	13.0%	34,498	69.4%
産業機械	3,509	48.4%	461	6.4%	-	-	1,764	24.4%	1,506	20.8%	7,242	14.6%
食品機械	2,699	77.9%	12	0.3%	-	-	292	8.4%	465	13.4%	3,470	7.0%
その他	4,378	97.4%	-	-	-	-	118	2.6%	-	-	4,496	9.0%
地域別 計	19,995	40.2%	5,299	10.7%	4,400	8.9%	13,538	27.2%	6,473	13.0%	49,707	100.0%

2020年12月期 3Q	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	5,235	19.9%	3,872	14.7%	3,117	11.8%	11,314	43.0%	2,776	10.6%	26,317	64.6%
産業機械	3,417	42.5%	656	8.1%	-	-	3,143	39.1%	827	10.3%	8,045	19.7%
食品機械	1,686	75.9%	100	4.5%	-	-	94	4.2%	341	15.4%	2,223	5.5%
その他	4,009	96.4%	0	0.0%	-	-	148	3.6%	-	-	4,158	10.2%
地域別 計	14,348	35.2%	4,631	11.4%	3,117	7.7%	14,701	36.1%	3,946	9.7%	40,744	100.0%

為替の影響額	-	△約 0.6 億円	△約 0.4 億円	△約 3.3 億円	△約 0.7 億円	△約 5 億円
--------	---	-----------	-----------	-----------	-----------	---------

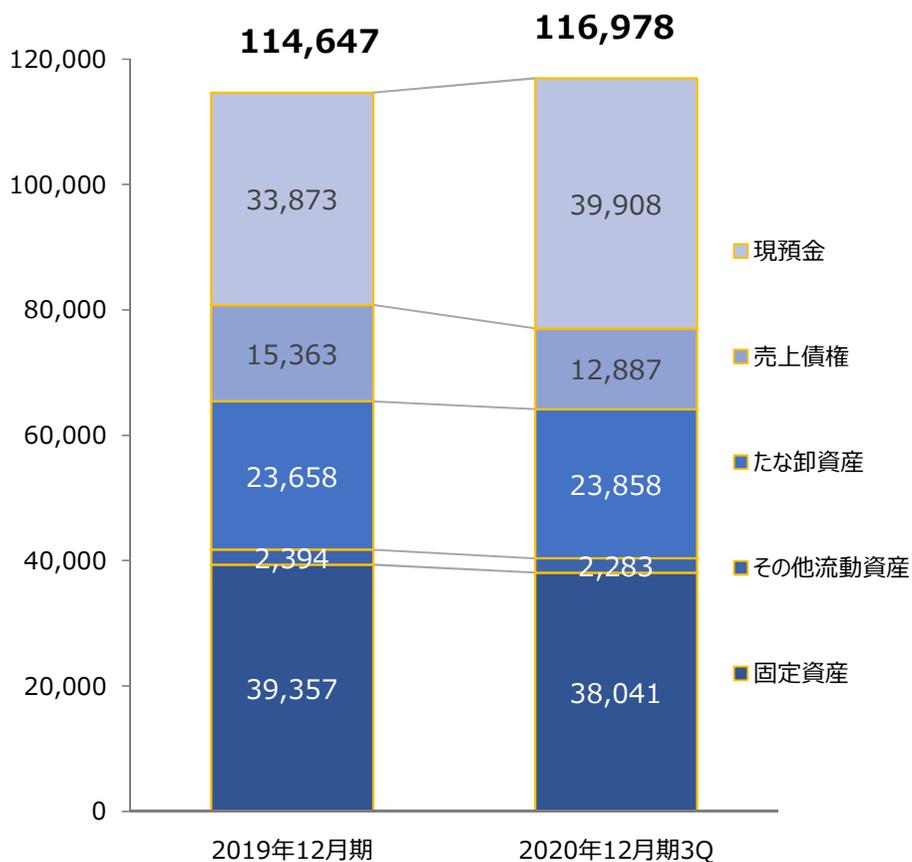
# 貸借対照表



✓ ネット有利子負債は30億47百万円（前期末比17億16百万円減少）

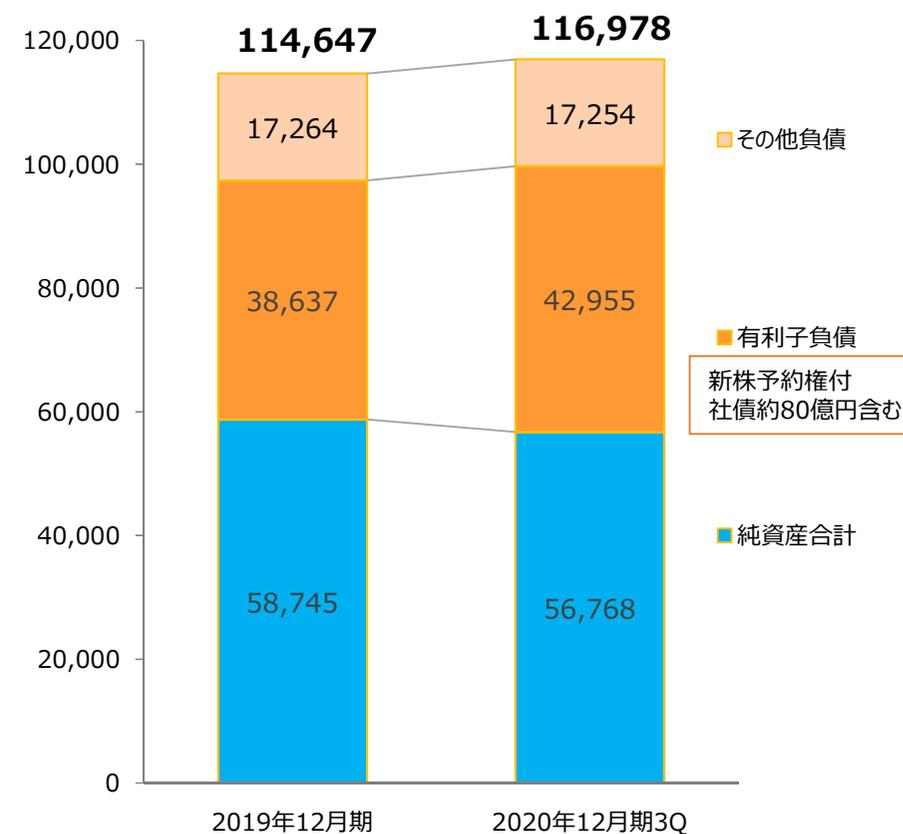
## 資産

(百万円)



## 負債・純資産

(百万円)



※参考情報 2020年9月末 為替レート      ドル：105.80円      ユーロ：124.17円      人民元：15.54円      バーツ：3.34円  
 2019年12月末 為替レート              ドル：109.56円      ユーロ：122.54円      人民元：15.67円      バーツ：3.63円

## 1 生分解性プラスチック対応 不活性ガス溶解射出成形システム「INFILT-V」の開発

生分解性プラスチックの成形における課題は、溶融したときの粘度が高く成形加工が困難なことでした。その課題に対し、樹脂材料を金型に充填する射出プランジャから不活性ガスを直接注入する新しいシステム「INFILT-V」を開発しました。

不活性ガスを射出プランジャに直接注入することにより、ガスを樹脂材料に溶解させ、その粘度が低下する現象を利用することで、従来では困難であった薄肉成形に対して、安定した樹脂材料の充填が可能となります。

※製品リリース：

[https://www.sodick.co.jp/pdf/201022104824\\_20201022\\_PressRelease\\_INFILT-V\\_Sodick.pdf](https://www.sodick.co.jp/pdf/201022104824_20201022_PressRelease_INFILT-V_Sodick.pdf)



写真 1. 左：標準成形 右：「INFILT-V」使用

▲INFILT-Vシステム搭載 射出成形機での成形事例

## 2 超高速細穴放電加工機「K4HL」の開発

近年、細穴放電加工機は、ワイヤ放電加工のスタート穴加工の用途のみならず、航空宇宙・エネルギー、自動車、医療機器、電機・電子産業など様々な分野で、ドリルでは加工困難な細くて深い穴や加工変質層が少ない穴、出口でバリの無い穴など、加工の難易度が高まっています。

今回開発した「K4HL」は、既存機では主軸のみに搭載していたリアモータを3軸すべてに標準搭載しているほか、電極供給装置の機能拡張及び電極自動交換装置の搭載などにより、高精度・高効率生産に貢献します。

※製品リリース：

[https://www.sodick.co.jp/pdf/201030062456\\_20201030\\_PressRelease\\_K4HL\\_Sodick.pdf](https://www.sodick.co.jp/pdf/201030062456_20201030_PressRelease_K4HL_Sodick.pdf)



▲K4HL外観

## 3 即席麺生地生産用 大型2軸ミキサ「TM-350W」の開発・販売

小麦粉と水を練り上げて麺生地を生産するための機械である大型2軸ミキサは、攪拌軸を2本搭載することで、粉末と水を均等に混ぜ合わせられ、品質の高い麺の製造が可能になります。また、大型の機械であり、一度に350キログラムの小麦粉を攪拌できるため麺の大量生産に対応します。

今後、国内外での需要拡大が見込める即席麺市場でのシェア獲得に向け、販売を強化してまいります。

※製品リリース：

[https://www.sodick.co.jp/pdf/201019134245\\_20201019\\_PressRelease\\_Large\\_mixer\\_with\\_2axes\\_Sodick.pdf](https://www.sodick.co.jp/pdf/201019134245_20201019_PressRelease_Large_mixer_with_2axes_Sodick.pdf)



▲大型2軸ミキサ「TM-350W」

## 4 フェイスシールド用フレーム「Face Tech」を開発・供給

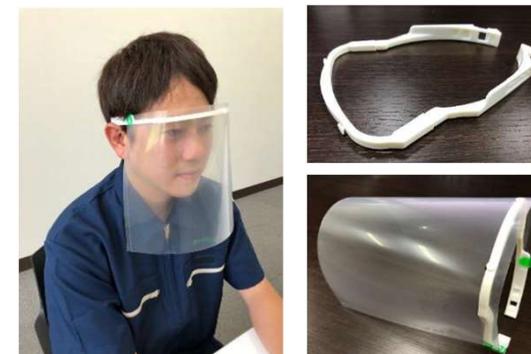
新型コロナウイルス感染症予防に有用な本格フェイスシールド用のフレーム「Face Tech」を開発しました。

Face Techは樹脂製で、当社金属3Dプリンタ技術を駆使した自社製金型を使った高い成形精度によるなめらかな形状と質感で優れた装着感が特長です。シールド部は市販の文具・日用品を使用でき、簡単に取り外し交換・廃棄が可能な構造であり、衛生面で優れています。

CSR活動の一環として、医療関係・各種公共機関・スポーツ関連の施設や団体などに寄贈・供給しました。

※製品リリース：

[https://www.sodick.co.jp/pdf/200709100132\\_20200709\\_facetech.pdf](https://www.sodick.co.jp/pdf/200709100132_20200709_facetech.pdf)



▲Face Tech

# 新型コロナウイルス感染拡大に対する当社の対応状況

✓当社 主要拠点での稼働状況は以下の通り（11/13現在）

拠点	稼働状況
日本	公共交通機関利用を一部制限、在宅勤務推進を継続。 8月～12月にて数日間の一時帰休実施予定。
欧米	出社と在宅勤務のローテーションを実施
中国	通常稼働
アジア	ほぼ通常稼働 タイ工場は需要減少に合わせた生産調整のため稼働日を調整

✓当社グループでの対応

- 需要減少に合わせた生産調整（タイ工場の稼働日調整）による在庫水準の適正化
- 調達先の見直し及び内製化の強化等、サプライチェーンの抜本的な見直し
- 当社における国内全社員を対象とした一時帰休の実施
- 全社レベルでの経費削減の徹底
- 一部グループ会社における給与減額
- 出張（国内・海外）の原則禁止
- 在宅勤務、時差通勤、Web会議等の利用促進
- 学校の臨時休校に伴う特別休暇の付与
- Web展示会等を活用した営業活動の強化
- 安全衛生面の徹底（マスク着用、検温、アルコール消毒、食堂利用時間の制限、外部との接触の自粛等）
- フェイスシールド用フレームの生産及び従業員への配布並びに医療関係・各種公共機関、スポーツ関連施設・団体などへの供給

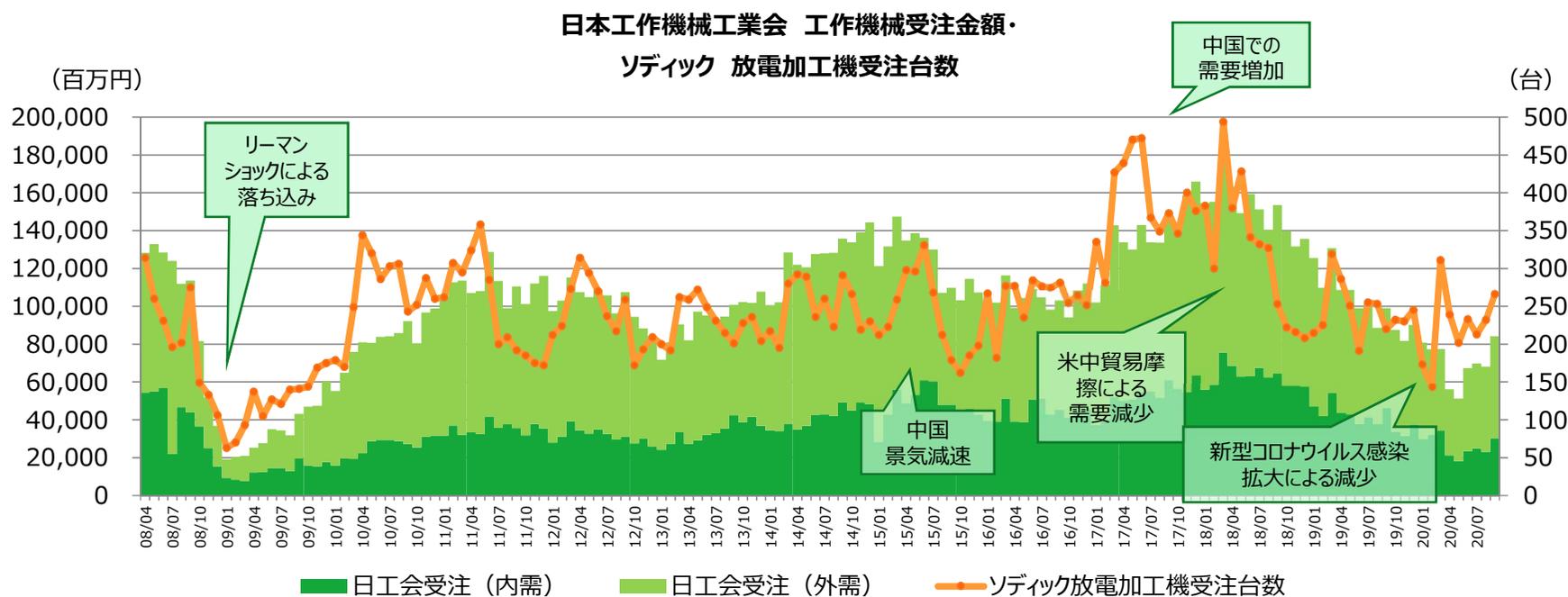
I. 2020年12月期 3Q決算概要

**II. 2020年12月期 業績予想**

III. 株主還元

(参考資料)

- ✓ 国内：政府の補助金政策や老朽化設備の更新需要など潜在的な需要はあるも、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、設備投資マインドの低下や投資見送り傾向もあり、先行き不透明。
- ✓ 北米・欧州：新型コロナウイルスの感染再拡大による事業活動への影響が懸念。  
自動車関連には回復傾向が見られるものの、航空宇宙関連においては厳しい状況となる見通し。
- ✓ 中国：3月以降回復傾向が継続するも、全世界的な新型コロナウイルスの感染拡大や、米中関係の悪化など、先行きは依然として不透明感あり。ただし、中長期的にはものづくりの高度化や自動化ニーズの高まり等もあり、高精度機の需要は継続する見通し。
- ✓ アジア：地域別に濃淡あるも、一部で移動制限等もあり、依然として厳しい状況が継続する見込み。



## 2020年12月期 通期業績予想（当初予想対比）



- ✓ 第3四半期累計期間の業績が想定より上振れたこと及び足元の事業環境を考慮し、8月7日に公表した通期業績予想を上方修正。

（百万円）

	2020年12月期 通期		2020年12月期 通期		増減	
	修正予想 (8/7公表)	利益率	修正予想 (11/13公表)	利益率	金額	増減率
売上高	54,500	-	55,400	-	900	1.7%
営業利益	1,000	1.8%	1,300	2.3%	300	30.0%
経常利益	1,000	1.8%	1,300	2.3%	300	30.0%
当期純利益	500	0.9%	750	1.4%	250	50.0%

通期予想レート

期中平均 為替レート	ドル	107.00 円	106.50 円
	ユーロ	121.00 円	121.50 円
	人民元	15.30 円	15.40 円
	バーツ	3.45 円	3.40 円

※2020年12月期 通期業績予想を修正しております。

詳細につきましては、2020年11月13日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2020年12月期 通期業績予想（進捗状況）



- ✓ 第3四半期累計期間の業績が想定より上振れたこと及び足元の事業環境を考慮し、8月7日に公表した通期業績予想を上方修正。

(百万円)

	2020年12月期 3Q		2020年12月期 通期		進捗率	2019年12月期
	実績	利益率	通期予想 (11/13修正)	利益率		実績
売上高	40,744	-	55,400	-	73.5%	67,591
営業利益	827	2.0%	1,300	2.3%	63.6%	3,422
経常利益	893	2.2%	1,300	2.3%	68.7%	3,558
当期純利益	619	1.5%	750	1.4%	82.5%	2,002

### 通期予想レート

期中平均 為替レート	ドル	107.55		106.50 円		109.03円
	ユーロ	120.93		121.50 円		122.03円
	人民元	15.37		15.40 円		15.77円
	バーツ	3.41		3.40 円		3.52円

# 2020年12月期 通期業績予想（セグメント別）



(百万円)

	2020年12月期			2019年 12月期 実績	
	3Q 実績	通期予想 (11/13公表)	進捗率		
売上高	● 工作機械事業	26,317	<b>35,700</b>	73.7%	45,797
	● 産業機械事業	8,045	<b>10,200</b>	78.9%	9,773
	● 食品機械事業	2,223	<b>3,900</b>	57.0%	6,283
	● その他事業	4,158	<b>5,600</b>	74.3%	5,737
		40,744	<b>55,400</b>	73.5%	67,591
セグメント 利益	● 工作機械事業	1,675	<b>2,400</b>	69.8%	4,621
	● 産業機械事業	370	<b>400</b>	92.7%	165
	● 食品機械事業	27	<b>180</b>	15.2%	625
	● その他事業	312	<b>400</b>	78.0%	311
		2,385	<b>3,380</b>	70.6%	5,723
調整額	△ 1,558	△ <b>2,080</b>	74.9%	△ 2,301	
営業利益 合計	827	<b>1,300</b>	63.6%	3,422	

## 工作機械事業

- ✓ 中国を中心に、自動車をはじめ他分野でも、ものづくりの高度化による高精度機の潜在的な需要あるも、新型コロナウイルスの全世界的な感染拡大の影響を受けた経済活動の制限等もあり、不透明な状況。

## 産業機械事業

- ✓ 足元の受注状況に一服感あり、やや厳しい状況が見込まれる

## 食品機械事業

- ✓ 主要案件の売上は第4四半期に集中。
- ✓ 製麺機、米飯装置ともに需要は継続するも、新型コロナウイルス感染拡大による営業活動の遅れや設備投資の先送りにより、売上が来期にずれ込む案件も複数あり。

## その他事業

- ✓ セラミックスは回復傾向だが、金型成形事業は依然不透明

※業績予想の修正に伴い、セグメント別通期業績予想についても一部修正しております。

I. 2020年12月期 3Q決算概要

II. 2020年12月期 業績予想

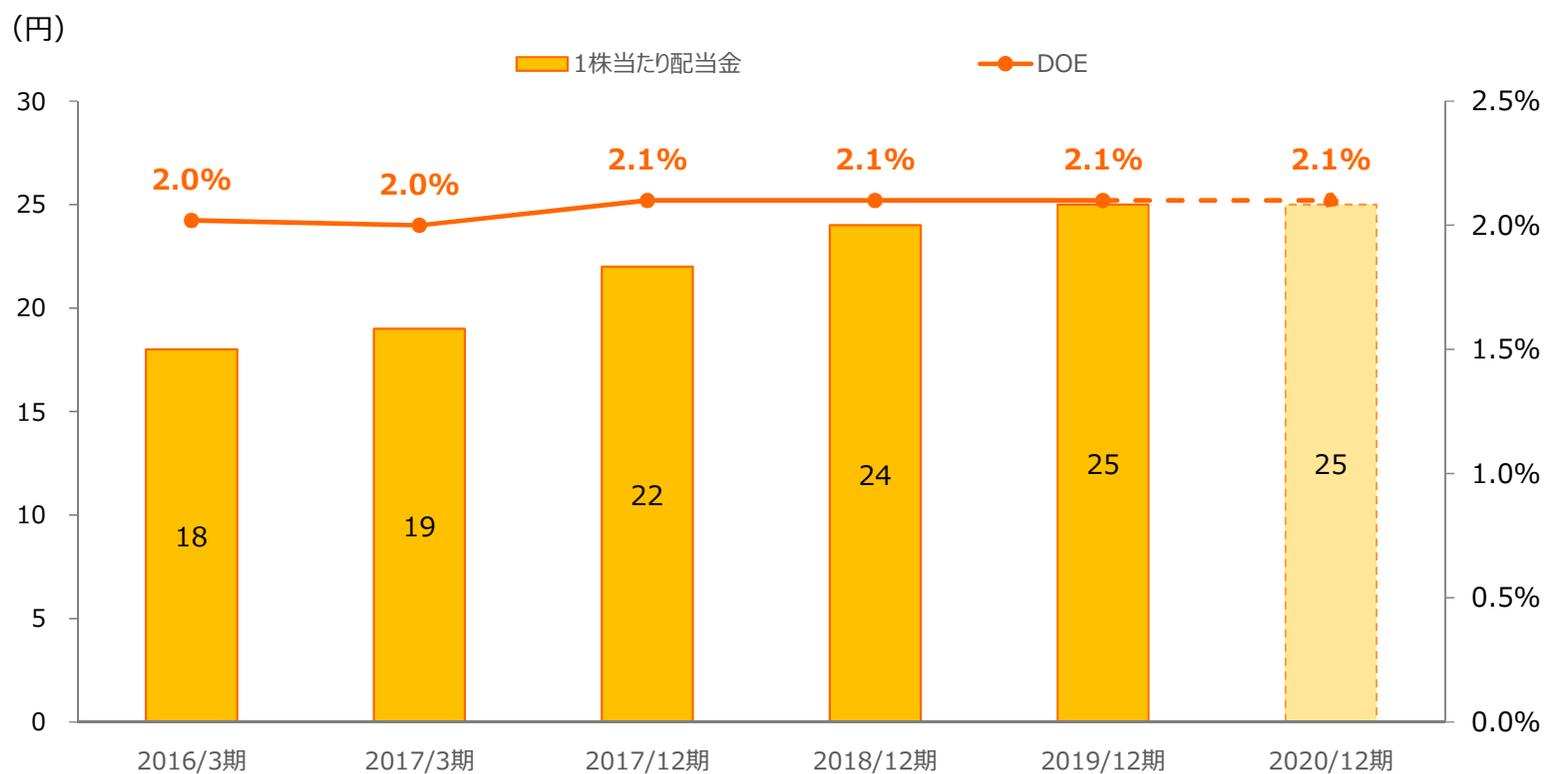
**III. 株主還元**

(参考資料)

# 株主還元方針及び配当予想



- ✓ 配当方針：株主資本配当率（DOE）2%以上を目指す。
- ✓ 2020年12月期の年間配当は、25円の予定（中間12円、期末13円）



- I. 2020年12月期 2Q決算概要
- II. 2020年12月期 業績予想
- III. 株主還元

**(参考資料)**

# 【参考資料】 国内外の拠点



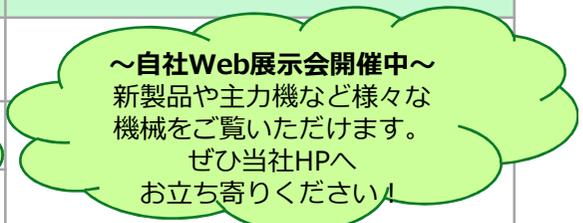
本社

生産拠点

開発拠点

販売・サービス拠点

## 【参考資料】 主な展示会への出展情報

会期	開催地	展示会	概要・備考	
2020年			 <p>～自社Web展示会開催中～            新製品や主力機など様々な機械をご覧いただけます。            ぜひ当社HPへお立ち寄りください！</p>	
11/13～12/25	オンライン	自社Web展 Sodick World Tour Japan JIMTOF		
11/13～2021/5/21	オンライン	自社Web展 Sodick World Tour Japan IPF		
11/16～27	オンライン	JIMTOF 2020 Online		
11/18～20	オンライン	IPF 2020 Online		
11/18～21	タイ	バンコク	Metalex Thailand	会場開催中止によりWeb展示会に変更
11/24～27	中国	深圳	DMP 2020 (東莞国際金型・金属・プラスチック加工展)	会場開催中止によりWeb展示会に変更
2021年				
3/9～12	日本	大阪	MOBAC SHOW 2021 (第27回国際製パン製菓関連産業展)	食品機械展示会
4/13～16	中国	上海	Chinaplas	射出成形機を出展
4/14～17	日本	東京	INTERMOLD 2021	
6/1～4	日本	名古屋	FOOMA JAPAN 2021	食品機械展示会
6/23～26	タイ	バンコク	INTERMOLD THAI	
10/20～23	日本	名古屋	メカトロテックジャパン 2021	

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、展示会への出展予定が変更となる場合があります。

本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社ソディック コーポレート本部 社長室

〒224-8522 神奈川県横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号

TEL : 045-942-3111 FAX : 045-943-5835